

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公開番号】特開2007-75226(P2007-75226A)

【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-012

【出願番号】特願2005-264535(P2005-264535)

【国際特許分類】

A 6 1 M 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 11/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液剤を吸入流路内に液滴として吐出して利用者に吸入させる液剤吐出装置であって、少なくとも、吸入するための通常の液滴吐出と吸入されることのない液滴予備吐出とが可能な吐出手段と、前記液滴予備吐出にて吐出された液滴を吸入流路内から除去する排出手段と、を有することを特徴とする液剤吐出装置。

【請求項2】

前記排出手段は、吐出手段に対向して配置されていることを特徴とする請求項1に記載の液剤吐出装置。

【請求項3】

前記排出手段は、吸入流路内から除去する液滴を回収する様に構成されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の液剤吐出装置。

【請求項4】

前記排出手段が、排気ファンを含むことを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の液剤吐出装置。

【請求項5】

前記排出手段は、前記吸入流路に繋がる排出流路を有し、排出流路の途中に液滴回収フィルターを具備することを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の液剤吐出装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

上記課題に鑑み、本発明の液剤吐出装置は、液剤を吸入流路内に液滴として吐出して利用者に吸入させる液剤吐出装置である。そして、少なくとも、吸入するための通常の液滴吐出と吸入されることのない液滴予備吐出とが可能な吐出手段と、前記液滴予備吐出にて吐出された液滴を吸入流路内から除去する排出手段と、を有することを特徴とする。